

ストーブ火災

毎年 12 月から 3 月にかけて多く発生しています。
ストーブの火災で亡くなられる方も多く、注意が必要です。



ストーブの上に衣類などを掛けると非常に危険です。
ストーブを使用中に衣類などが落下すると衣類から白煙が上がります。



気付かず放置すると、衣類から炎が上がりだし、周囲の物に延焼します。
寝るときは必ずストーブを消しましょう。

※実験では約 10 分後から煙がでていますが、タオルなどでは直ぐに燃え上がることもあります。

実験では電気ストーブを使用しています。

石油ストーブのように炎が出ないからといって安全ではありません。
就寝時や洗濯物の乾燥目的にストーブを使用することは大変危険です。
使用方法をしっかりと守ることが火災予防の第一歩。



ストーブ火災について
詳しくはこちらの二次元コードから
堺市消防局ホームページを
ご覧ください

守ります。大切な街を これからも。
堺市消防局